

外来担当医表

病院広報誌 秋号 No.35

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	青山(龍) 高見	市原 田邊	松本 山口	稲田 市原	松本 青山(龍)	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長	第1,3院長 第2,4,5岡庭
	小児科	長江 木村	長江	長江 木村	木村	長江 木村	長江 木村
	検査	胃カメラ 腹部エコー 松本			胃カメラ 腹部エコー 松本 頸動脈エコー		
午後 14:00~16:00	内科	市原	青山(龍)	市原	松本	山本	
	整形外科 外科						
	小児科	長江	長江	予防接種 乳児健診	木村	木村	
	検査	大腸ファイバー 山田・松本 頸動脈エコー	心エコー市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー	心エコー市原 シャント PTA		
夕方 16:30~17:00	小児科	予防接種				予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1,3,5松本(朋) 第2,4長尾		青山(龍) 小坂		松本 第1,3,5野原 第2,4天池	
	整形外科 外科	岡庭 院長		勝野		岡庭	
	小児科	木村		木村		長江	

周辺地図



<職員募集> 看護師・准看護師・薬剤師・臨床検査技師 募集中 担当 益田・菊池まで



笑顔

病院広報誌 秋号 No.35

平成26年12月発行
編集・発行/青山病院広報委員会

医療法人 青山病院

内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、血液透析センター
瀬戸市南山町1-53
TEL (0561) 82-1118
<http://www.seto-aoyama.jp>
小児科予約 <http://b.inet489.jp/aoyam1118/>



小児科予約用

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

青山病院中庭のドウダンツツジ



中庭のドウダンツツジ（灯台躑躅、満天星）の紅葉

ドウダンツツジはツツジ科の落葉低木。「ドウダン」は枝分かれている様子が昔夜間の明かりに用いた灯台（結び灯台）の脚部と似ていたところから、その「トウダイ」が訛ったものとされています。また、「満天星」は中国名に由来します。

春から初夏に新しい芽が吹くころに、小さな白いつぼ型の花（左上の写真）を枝から垂れ下がるようにたくさん咲かせます。秋に紅葉し、燃えるような真っ赤な美しい色合いになります。

となり街の尾張旭市の教育文化施設「どうだん亭（旧浅井家住宅離れ）※国の登録有形文化財」の庭園はドウダンツツジのお勧めのスポットです。花が咲く春と、庭園が赤く色づく秋、ひな祭りの期間に一般公開しています。

介護福祉士

鳥居 美由紀

最初は、母親の知人から介護の勉強をしてみないかと誘われてヘルパーの資格をとりました。その後、障害者施設、老人ホームなどで経験を積み、介護福祉士の国家資格を取得しました。そして病院の療養病棟での介護に興味を持ち、青山病院に就職しました。

普段の仕事内容は、食事介助、入浴介助、排泄の世話（オムツ交換、トイレ誘導）、レクリエーション（誕生日会、各行事）等、生活全般の支援を行っています。

仕事をするうえで私が大切にしている事は、相手の立場に立ち、気持ちに寄り添って介護する事です。また患者様の生活に密に関わっているので生活機能の向上・維持、また日々の生活を穏やかに過ごして頂ける様に支援して行く事です。

まだまだ勉強不足な私ですがどんなに忙しくても笑顔を忘れず1つ1つの仕事を丁寧に行う中で、日々研鑽に励み患者様の支えになれるような介護福祉士を目指して行きたいと思えます。

検体検査適正化委員会

検体検査適正化委員会は平成12年4月に設置されました。委員会の目的は、患者様の為に的確な検査項目の選択と、正確な検査値を提供できるように検査の体制を整えることです。委員会は、院長、検査担当医師、各科の医師、関係するメディカルスタッフの代表で構成されており、毎月開催されています。

委員会の仕事は臨床検査全般に及び、例えば新しく出来た検査項目や検査が関係する診療ガイドラインの紹介、検査の依頼から検体採取・分析・結果報告までの手順の取り決め、測定方法や測定装置の検討、医師による検査結果のチェック、検査担当者の教育などがあります。また施設基準では検査精度の管理を行う事を求めており、検査科では毎日同じ検体を測定して同じ値が出るか確認したり、全国の3000以上の検査施設で同時に同じ検体を測定し、得られた結果を比較して評価する外部精度管理調査に参加しており、それらの成績を委員会で確認しています。

検体検査適正化委員会は患者様の目に触れる仕事はありませんが、これからも適正な検査を実施する為に業務を行ってまいります。

臨床検査科 平田基裕

スギ花粉症の免疫舌下療法について

副院長 内科 青山 龍平

スギ花粉症は今では国民の25%以上が罹っているといわれ、テレビなどでも盛んに取り上げられていますが、最近では「舌の下にスギ花粉の液を滴下してスギ花粉症を治す」という治療法が盛んに宣伝されています。これが免疫舌下療法で、今年の10月より12歳以上の患者様について保険適用になりました。

この治療法は舌の下にスギ花粉エキスをたらし、2分間待ってから飲み込むというもので、この治療を3～5年間毎日行います。約80%の方に症状の改善が見られますが、効果が出るまでには少なくとも3カ月かかると言われています。スギ花粉飛散時期（2～5月）には安全上、開始できないので、今シーズンのうちに治療を始めたい場合は、来年1月初旬までには開始する必要があります。

この治療は、スギ花粉症であれば特別な場合を除き、多くの方が適応となりますが、スギ花粉時期に受験が重なる方、これから何年も花粉症で悩むのはつらいといった方、近い将来妊娠希望で妊娠中にアレルギー薬をたくさん飲むのは不安な方などに特にお勧めします。

従来の皮下免疫療法に比べて重い副作用はほとんどなく、極めて安全な治療です。興味がある方は外来までお問い合わせください。

長く続けるのが
大切です。



アレルギーの投与量を
少量から始め、
徐々に増やしていく



治療期間は3～5年